

【前回の主な意見】北陸圏・中部圏の国土形成を考える会

〔日時〕 令和 5 年 9 月 26 日（火）13：30～15：30

〔場所〕 愛知芸術文化センター12 階アールスペース A 室

～主な意見（要約）～

（1）広域観光について

①広域連携の重要性

- ・北陸圏と中部圏は国内では競合関係だが、インバウンド市場を対象にすることで協調が可能であり、圏域の枠を超えた民間連携が重要である。

②観光ルートの魅力強化と多様化

- ・観光資源は存在するが、訪問者の「過ごし方」の設計やルートの多様性が不足しており、新たな消費動向に基づく調査と再構築が必要である。

（2）交通インフラについて

①ミッシングリンクの解消と交通網整備

- ・高規格道路や新幹線など南北軸の接続強化により、広域観光・物流の基盤構築が必要である。

②空路・鉄道・道路の多層的連携

- ・アクセスの多様化に対する必要性が高まり、空港との連携や代替ルートの整備が課題であるほか、外国人観光客の移動のしやすさ向上も重要である。

（3）防災・減災について

①広域災害への備えとリダンダンシー確保

- ・南海トラフ地震や首都直下地震等のリスクに備え、地域機能の相互補完が必要であり、事前復興計画の策定やインフラの多重性を確保することが重要である。

②国土強靱化にむけた地域防災力の強化

- ・災害対策として、デジタル活用や自治体の防災力強化を推進し、国土形成計画との連携を通じて多層的な備えを構築することが重要である。

（4）地方創生にむけた地域振興について

①東京一極集中の是正と地域分散

- ・中部圏と北陸圏は日本の中核として、首都機能の分散や企業・行政の地方移転の受け皿になり得るため、これらを促進するための制度整備が重要である。

②産学官連携によるイノベーション促進

- ・産学官が連携して、広域での人材育成・研究開発の推進が重要である。

③新しい人流創出と観光・農業活性化

- ・産学官が連携して、広域での人材育成・研究開発の推進が重要である。
- ・道の駅などを活用した観光誘客や、スマート農業導入などによって、地域資源を活かしつつ、人口減少に対応した持続可能な仕組みを構築することが重要である。